

平成 28 年度 第 1 回 地域援助技術研修 報告書

1. 概要

八王子市内の主任介護支援専門員に対するフォローアップ研修。

地域資源の長所・短所の理解、地域特性の把握、利用者の自立した生活環境を整える上でどのように地域との関係を築いてゆくか、社会資源をどのように活かすかを学ぶ。（基礎編）

2. 研修内容

研修名	地域援助技術研修（基礎編）
テーマ	利用者と家族を支える地域づくり
日時	平成 28 年 9 月 23 日 金曜日 午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分
場所	八王子市生涯学習センター（クリエイトホール） 10 階 第 2 学習室
講師	大正大学 人間学部 社会福祉学科 神山 裕美 教授
参加者	高齢者あんしん相談センター職員 6 名（6 事業所） 居宅職員 50 名（38 事業所） 合計 56 名

3. 参加者アンケート調査 結果（回収数 49 名）

(1) 研修会全体の内容はいかがでしたか

項目	回答	率
① 満足	36 名	73.5%
② やや満足	12 名	24.5%
③ やや不満	1 名	0%
④ 不満	0 名	0%
無記載	0 名	0%

(2) 資料はわかりやすかったですか

項目	回答	率
① わかりやすかった	37 名	75.5%
② ややわかりやすかった	10 名	20.4%
③ ややわかりにくかった	0 名	0%
④ わかりにくかった	0 名	0%
無記載	2 名	4.1%

「① わかりやすかった」を選んだ理由

- ・ 具体的に分かりやすく話された。
- ・ グループワークで気づきが多かった。
- ・ グループワークでは合った内容で理解できた。
- ・ グループワークで話し合ってみたので、色々意見が出て実感できた。
- ・ グループワーク等の話し合いの要点が分かりやすく討議しやすかった。
- ・ グループワークによって、話し合いがしやすく、課題に取り組めたため。
- ・ グループワークを取り入れたもので地域の異なるメンバーで構成されていた。地域性の違いを聞く機会になりよかった。
- ・ 講義とグループワークのバランスが良かった。
- ・ 資料は簡素で分かりやすかったが、実務的具体性は今一つか。
- ・ シンプルで分かりやすかった。
- ・ 日々体験している事例に沿った質問でしたので、グループ内でも活発な意見が出されていた。
- ・ ポイントがまとめてあり、わかりやすかった。
- ・ ミクロ、マクロ、エクソ、メゾシステムは興味深く分かりやすかったです。
- ・ ミクロ、マクロ、エクソ、メゾシステムについて改めて考えさせられました。
- ・ 見守りを通して地域課題を学ぶことが出来た。
- ・ 見やすい。
- ・ ワークシートを活用しながら地域支援について考えることができました。

「② ややわかりやすかった」を選んだ理由

- ・ 思っていた研修内容と違っていたため。資料の内容はいいと思うが、ホチキス留めしてもらいとめくりやすかったと思う。
- ・ 住民が主体でやっていくべきだと感じるのですが、介護事業という枠をどうしても出られない。まずは自分が一住民として何が出来るか考えようと思いました。
- ・ 資料がとても良かった。特に八王子市高齢者計画推進プランが役に立ちました。
- ・ 事例が入ったので、具体的な話が出来た。グループワークがあったので聴くだけの研修にならず良かった。
- ・ 全体的にまとまりのない印象だった。

(3) 講義内容について理解できましたか

項 目	回 答	率
① 理解できた	29 名	59.2%
② だいたい理解できた	17 名	34.7%
③ あまり理解できなかった	3 名	6.1%
④ 理解できなかった	0 名	0%
無記載	0 名	0%

「① 理解できた」を選んだ理由

- ・ 各地域を知ることが一番大切という事がよく分かりました。
- ・ グループワークが具体的で理解しやすかった。
- ・ グループワークもテーマがはっきりしていたので話し合う内容が明確となり良かった。
- ・ 講義のあとでグループディスカッションができ、いろいろなことを話し合うことができてよかった。
- ・ 講義を通じて地域が別れていることで、いろいろな情報を交換できた。
- ・ 実際に話し合ってみたので実感して理解に繋がった。
- ・ 事例が分かりやすく身近なものなので、議論を深めることができた。
- ・ 事例を用いることによって、地域アセスメントの重要性がより理解でき、さらに資源開発をしていかなければならないとの思いを強くしました。その際に生態学的視点に着目する重要性を学ぶことができました。
- ・ 楽しい雰囲気。グループも違う地域の方々と参考になった。包括の方が良かった。
- ・ 地域アセスメントの必要性について、改めて考えさせられました。
- ・ 地域が課題となっており、市内の他居宅の情報が聞けたため。
- ・ 説明が聞きやすかった。
- ・ 話し方、進め方が上手であった。
- ・ 身近な内容で理解しやすかった。
- ・ 見守り体制の難しい部分を意見から模索できた。
- ・ 分かりやすかった。講義も分かりやすかったし資料も見やすかった。今後の地域の捉え方などよくわかった。
- ・ 事例を通しての地域力の向上も主任ケアマネとしての仕事なのだと改めて感じる事ができました。個別援助から地域社会全体に働きかけていくことは大きな課題であると思います。主任ケアマネが積極的に課題抽出していくという視点が大切なのだと意識して仕事に臨みます。

「② だいたい理解できた」を選んだ理由

- ・ 「生態学視点」という言葉を初めて聞いたので、まだしっかりした理解ができていません。戻ってから振り返りをしたいと思います。
- ・ グループワークが中心となっていたので、同じ圏域でメンバー構成がされているとより良かったと思う。(前回の主マネの集まりでそのような話もされていたところなので)
- ・ グループワークにより自分の身近なこととして捉えることができました。地域の文化、理解度を感じ取りながら進めることが大切だと思いました
- ・ 生態学的という部分をもう少し詳しく聞きたいと思った。成功事例、失敗事例ももっと知りたいと思った。
- ・ 先生の説明が分かりやすかった。

(4) 先生に伺いたいことがありましたらお書きください

- ・ 2025年問題について国、市、市民とのギャップが大きいのだと思いますが、果たして追いついていくのでしょうか。
- ・ 一事業所のケアマネとして地域ネットワークを作るのは難しい。市や包括がどんな支援をすれば主マネを活用したネットワークシステムが作れるのか。

- ・ 勝手に見守り体制ができてしまう地域がありますが、正しくない情報も提供されるので、ケアマネとしてはどのように修正して良いのか困ることもあります。ありがたくも思う反面、先に違った情報提供をしないで欲しいというジレンマをどうしていったらよいでしょうか。
- ・ ケース・バイ・ケースで奥が深くて難しいですが、先生はどのように理解しているのかを聞きたい。
- ・ 個人情報保護の観点から、どこまで地域の人に情報共有できるかわからない。
- ・ 生活モデルとは？もう少し詳しく知りたいです。
- ・ 生態学的視点について、読んだほうが良い本などあったら教えてください。
- ・ 生体学的視点についてももう少し講義を受けたい。
- ・ また講義、研修に伺いたいと思います。

(5) その他ご自由にお書きください

- ・ 話がとても聞きやすく内容も良かった。主任ケアマネの研修はある程度の経験を積んだ方ばかりなので、とても気持ちよくグループワークも進み、毎回楽しみにしています。自身も回を重ねるごとに緊張せず参加できるようになりました。今後も研修を楽しみにしています。
- ・ 貴重な講義に参加させて頂きありがとうございました。
- ・ クイーンのボーカルに満足しましたか？TVで観ていて良かったけど生はどうでしたか？
- ・ 講師に背を向けて講義を聴くことが少し残念でした。机の向きの工夫をお願いします。
- ・ 今回の内容で言えば、14まとめの部分の理解や取り組みについて重点的にやっていただきたかった。基礎編とされていたので、まずは地域作りの視点について考え方を学びたいと思いました。
- ・ 今後の主マネの立場を考えるともっと学習の必要性を感じています。地域をどう捉え活用していくかがこれからは大切になっていくことがよく分かりました。
- ・ できれば金曜の夜はやめて欲しい。仕事を来週に残さないため残業することが多いため。
- ・ 資料の文字が大きく読みやすかった。
- ・ 日常仕事をしながら地域へ参加するのは時間的に厳しい。また八王子からの、高齢化を自分たちの問題として考えて欲しいという市民に対するメッセージが伝わってこない。介護関係者が動くより先に市民の意識改革が必要だと思います。
- ・ 八王子市の見守り体制の情報を詳しく教えてほしい。
- ・ やはりエリア分けでグループにした方が、資源が共有出来るのでは？
- ・ 理論的などころは興味が持てた。

